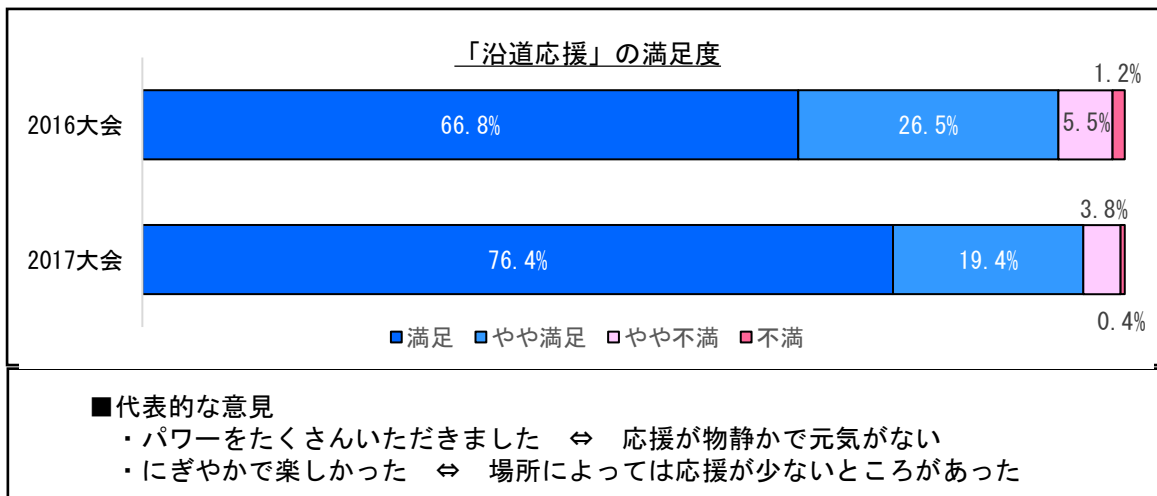


～ 第6回 「沿道からの応援」の向上について ～

函館マラソンの応援のレベルはどうなんだろう？などと思っても、それを定量的に測定するのは難しいですよ。で、そんな時に頼りになるのが参加者の皆さんからの声です。

アンケートやランネットの「大会レポ」をみると、「応援に助けられた」、「元気を貰った」と多くの方から好評の声が寄せられ、満足度は昨年よりアップしました。その一方で、「物静か」、「少ない」というご意見が散見される状況でありまして…。



でもまあ、9割5分以上の方にご満足をいただいているんだから、これはこれでよし！と、さらりとスルーしてしまおうとかと思いましたが、なんと驚愕の事実が判明。

それは今回導入した10分間時差式スタートを検証するためコース上を撮影したビデオを確認した際のことで、その映像には、

- ①沿道には沢山のギャラリーが詰めかけていて、ランナーの到来を待っている状況
- ②ハーフの先頭が到来～ハーフの大群衆が到来
- ③ハーフの最後尾が通過～同時にフルの先頭が到来

と、一連の状況が克明に撮影されているのはもちろんですが、なんとビデオですから「音」も入っているわけでして。

で、上記の②と③の映像にはギャラリーからの大歓声が記録されていると思いきや…聞こえてくるのはランナーの足音と、信号機の「ピッ、ピッ」という無機質な音と、そして若干の「ガンバレ」の声のみ…もしかして函館の人って応援に慣れてないのかな？

そこで18大会では今年の「メガホン」に続く応援アイテムの第二弾・第三弾を積極的に導入いたします。費用は…もちろんスポンサーさんのロゴを入れて…ね。

(ということで、今年はこれにて失礼させていただきます。皆様よいお年を！)